

議会だより

2017. 5. 1

vol
182

発行 / 置戸町議会

編集 / 議会広報特別委員会



新しくなったトレーニングルーム

おもな内容

3月の第4回定例会

- ・新年度予算、条例など…………… 2～3P
- ・町長の行政報告 …………… 4P
- ・2、3月臨時会 …………… 5P
- ・一般質問(6議員) …………… 6～11P

委員会の活動状況 …………… 12P

■一般質問の項目

- ▶今後の児童遊園地や公園の整備は…… / 嘉藤議員
- ▶定住・移住対策の宅地分譲、勤労者住宅建設について…………… / 石井議員
- ▶岐路に立つ鉄路について…………… / 小林議員
- ▶昨年の台風被害における「おけと湖」周辺施設の復旧は…………… / 岩藤議員
- ▶農地・人材・機械などの機能を持った地域農業支援三セクの検討は…………… / 高谷議員
- ▶秋田県湯沢市との交流について…………… / 澁谷議員

平成29年

3月定例議会

平成29年第4回定例会は、3月8日から16日まで開催され、町政執行方針と教育行政方針の説明、一般質問のほか、各会計予算案等を審議・議決して終了しました。

=平成29年度当初予算=

(単位：千円)

	29年度予算	前年度当初予算	前年度比
一般会計	4,338,000	4,112,000	105.5%
国民健康保険特別会計	580,000	558,300	103.9%
後期高齢者医療特別会計	49,500	51,900	95.4%
介護保険事業特別会計	352,600	343,400	102.7%
介護サービス事業特別会計	10,500	18,200	57.7%
簡易水道特別会計	400,700	992,500	40.4%
下水道特別会計	212,200	219,700	96.6%
合計	5,943,500	6,296,000	94.4%

29年度 当初予算

置戸町民間賃貸住宅建設促進支援奨励事業、へき地患者輸送車購入事業、公社営畜産担い手総合整備事業、雨水対策工事、公営住宅建設工事、防災行政無線整備事業など

条例

置戸町18歳の春旅立ち応援基金条例の制定について
— 原案可決 —

置戸町に生まれ育ち、成長した子どもたちが社会に旅立つことを祝すとともに、その旅立ちを支援する経費に充てるために条例を制定するものです。一人当たりの祝い金額は、1万円×住民基本台帳に登録された年数で、最高18年です。

置戸町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 — 原案可決 —
育児休業法と児童福祉法の改正に伴う条例の一部改正を行うものです。

置戸町ふるさと銀河線跡地活用等振興基金条例の一部を改正する条例
— 原案可決 —

平成28年度予算は物件費などが増加傾向となり、歳出全般における経費の抑制が必要となりました。厳しい財政状況を認識し、持続可能な財政運営を基本としたうえで各施策に取り組むための予算計上をしました。

平成29年3月31日で効力を失うことから、平成39年3月31日まで10年間期限の延長を

行うものです。

置戸町税条例等の一部を改正する条例

—原案可決—

地方税法の改正に伴い、税条例等の一部改正を行うものです。

置戸町ファミリースポーツセンター条例の一部を改正する条例

—原案可決—

大規模改修に伴い、使用区分の名称変更を行うものです。

同意

オホーツク町村公平委員会委員の選任について

—原案同意—

平成29年3月31日付をもって任期満了となるオホーツク町村公平委員会委員田村昌文氏（字北光68歳）の再任に同意しました。

置戸町固定資産評価審査委員会委員の選任について

—原案同意—

平成29年5月6日付をもって任期満了となる置戸町固定資産評価審査委員会委員長澤孝氏（字安住54歳）の再任に同意しました。

諮問

置戸町人権擁護委員候補者の推薦について

—適任と決定—

置戸町人権擁護委員候補者として青木千恵子氏（字置戸72歳）の推薦について、適任と決定しました。

その他

町道の認定について

—原案可決—

まちなか通り線の町道新設を認定しました。

規約

オホーツク町村公平委員

—原案可決—

会規約の変更について

設置団体の長を清里町長から大空町長に変更するとともに併せて地公法の改正に伴い規約の変更を行うものです。

報告

平成27年度置戸町教育委員会活動状況に関する点検・評価の報告について

—報告済—

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育長から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検評価の結果報告がありました。

定期監査の結果報告について

—報告済—

監査委員から平成29年2月17日に実施した、平成29年1月31日現在における物品購入等の契約執行状況、備品管理状況の現地監査報告があり、適正に執行されていると報告

—原案可決—

がりました。

例月出納検査の結果報告について

—報告済—

監査委員から平成28年11月30日、12月31日、平成29年1月31日現在までの出納検査について、検査の結果、現金の出納及び保管は適正に行われていると報告がありました。

補正予算

平成28年度置戸町一般会計補正予算

—原案可決—

歳入歳出予算を1億8594万9千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ52億7568万1千円としました。

平成28年度置戸町国民健康保険特別会計補正予算

—原案可決—

歳入歳出予算を506万1千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億5509万3千円としました。

平成28年度置戸町介護保

—原案可決—

険事業特別会計補正予算

歳入歳出予算を2749万9千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億2472万1千円としました。

平成28年度置戸町介護サービス事業特別会計補正予算

—原案可決—

歳入歳出予算を102万3千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2207万円としました。

平成28年度置戸町簡易水道特別会計補正予算

—原案可決—

歳入歳出予算を2875万6千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億1158万2千円としました。

平成28年度置戸町下水道特別会計補正予算

—原案可決—

歳入歳出予算を720万4千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億3894万9千円としました。

町長の行政報告から

次のとおり町長から報告がありました。
要約してお知らせします。

置戸町交流促進センターの運営について

平成27年4月より休業し、大規模改修を進めていた置戸町交流促進センター「勝山温泉ゆうゆ」は、新たな指定管理者を決定し4月より再開の目処がたちましたので、一連の経過についてご報告します。

勝山温泉ゆうゆは、豊富な湯量や景観等の地域資源を活用し、保健休養、都市住民との交流等を目的に、平成6年12月にオープンしました。

その後、農村公園やコテージの建設を図り、ピーク時には年間15万人の利用者を記録した、本町観光の大きな拠点です。

この間、開設当初から平成18年3月まで置戸町振興公社、同年4月から指定管理者制度

を導入し、平成27年3月までの間、2社が指定管理者として経営にあたっていただきました。

本施設はオープン以来、温泉各種設備・施設の補修や模様替えをしながら運営してきましたが、心臓部とも言える貯湯、給湯設備などの配管設備の劣化が著しく、また20年間の経過により施設全体の化粧直しが必要なことから平成27年3月末で指定管理契約を1年間残し、大規模改修に向け休止としました。

平成27年度において、大規模改修に係る基本設計、実施設計を行い、平成28年度に改修工事費、工事監理費など5億5400万円をかけて、温泉設備、本体内部、コテージと改修工事を進め、本年2月に完了いたしました。

また、今後の運営のあり方については、役場内部検討会議、町内各界の方による「意見交換会」を開催し、議論を進めてきました。

昨年10月には、観光事業を含め、町内経済の循環、さらには雇用の創出等を鑑みて、「町民力」を結集しての運営の可能性を諮るべく、町民有志による「運営事業体設立検討委員会」を立ち上げ、検討協議をいただきました。

その結果、社員15名と置戸町で、本年2月7日に「一般社団法人おけと勝山温泉ゆうゆ」の設立に至ったところがあります。

今回設立された「一般社団法人おけと勝山温泉ゆうゆ」は、「地域に愛され、置戸の宝」としての本施設の再構築に向けて、参画した社員ひとり一人が町民、利用者の代表としてその英知を絞り、永く「勝山温泉ゆうゆ」を運営するとの想いを共有されており、勝山温泉ゆうゆの安定経営、発展的運営を目指すためには多くの町民をはじめ利用者の

支持が不可欠であり、それらのニーズに応えるべく、設立された一般社団法人には日々の経営努力が求められます。

置戸町としても、一般社団法人の運営に対し継続的な支援と連携を図り、施設管理に対し毎年委託料を計上し、

経営の安定を図ってまいります。

議会ははじめ町民の皆様、置戸町交流促進センター（勝山温泉ゆうゆ）のこれまでの経過と運営、施設管理に関する町の考え方を申し上げ、行政報告といたします。

▼勝山温泉ゆうゆオープンセレモニー



平成28年度 各会計補正予算内訳

■一般会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
定住促進事業に要する経費	5,220	減額
ふるさと銀河線跡地活用等振興基金積立金	518	増額
国民健康保険特別会計繰出金	3,895	増額
老人福祉事業支援に要する経費	9,400	減額
障害者総合支援に要する経費	4,400	増額
簡易水道特別会計繰出金	16,770	減額
道営土地改良事業に要する経費	10,160	減額
橋梁整備事業に要する経費	22,386	減額
防災対策に要する経費	7,028	減額
人材育成基金積立金	1,595	増額
町債償還元金	1,102	増額

■国民健康保険特別会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
保険財政共同安定化事業拠出金	7,667	減額
償還金	1,076	増額

■介護保険事業特別会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
居宅介護サービス保険給付に要する経費	14,700	減額
特定入所者介護サービスに要する経費	2,000	増額

■介護サービス事業特別会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
特別養護老人ホーム管理に要する経費	852	減額

■簡易水道特別会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
簡易水道再編推進事業に要する経費	19,379	減額

■下水道特別会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
農業集落排水事業に要する経費	3,974	減額

▽平成28年度置戸町一般会計補正予算 — 原案可決 —
交流促進センター指定管理委託料に係る債務負担行為で平成29～38年度の10年間にわたる支出予定額1億円を追加補正しました。

補正予算

平成29年
第3回
臨時会
3月2日開催

補正予算についてほか、審議・可決し閉会しました。

▽平成28年度置戸町一般会計補正予算 — 原案可決 —

補正予算

平成29年
第2回
臨時会
2月24日開催

補正予算について、審議・可決し閉会しました。

歳入歳出予算を7065万1千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ54億6163万円としました。

その他

▽置戸町交流促進センターに係る指定管理者の指定について — 原案可決 —

指定管理者となる団体名
置戸町字常元1番地の5
一般社団法人おけと勝山温泉ゆうゆ

理事長 奥山 忠明

指定の期間

平成29年4月1日から平成39年3月31日

▼「勝山温泉ゆうゆ」完成後の視察



▽工事請負契約の締結について — 原案可決 —
置戸地区簡易水道再編推進事業置戸浄水場外電気設備新設工事(その2)
・契約金額
1億8144万円
・契約相手
小野寺・エスケー経常建設
共同企業体

工事請負

工事請負について審議・可決し閉会しました。

平成29年
第5回
臨時会
3月24日開催



嘉藤 均議員

今後の児童遊園地や公園の整備は

町長 中央公民館前庭に平成30年度には

Q 町内7箇所の児童遊園地は地域福祉センター、南ヶ丘公園は産業振興課、秋田、勝山の遊園地は社会教育課の所管と担当は様々であります。平成29年度予算には、老朽化した遊具は撤去し、補充等はないのが現状です。子ども・子育て支援事業計画を策定する際にも、アンケート調査等をもとに、児童遊園地の再編計画がありました。また、平成25年度の行政外部評価でも、積極的な再編をし、児童の健全育成の中心施設と成り得る児童遊園地の建設を求めるとあります。計画に対して、出生数は大きく影響すると考えますが、平成29年の出生数は、11名の計画に対し25名の出生数の計画を組んだとお聞きしております。

そこで、今後どのように児童遊園地や公園の計画を立て直し、整備を進めていくのか伺います。

A 現在の町内における、児童遊園地は7箇所あります。また、公園、運動公

園はそれぞれ4箇所設置しております。そのうち、2箇所は、置戸のパークゴルフ場、勝山のふれあい公園パークゴルフ場であります。また、平成25年には、秋田の遊園地を、秋田レクリエーション公園として再編整備をしました。

また、平成27年の3月に、アンケート調査、認定子ども園どんぐりに通っているお子さんの保護者の意見を聞き、子ども・子育て支援事業計画を策定しました。

その計画書では児童遊園地については、現在ある7箇所を5箇所にするとの再編計画でした。この計画には、子どもの出生率、数の問題も見込みますが、児童のみならず、高齢者の憩いの場でもあると認識しており、そうした意味での機能も必要と考えております。平成28年度は、地域のご意見もいただき、境界の遊園地は砂場の撤去と遊具の更新を行っております。利用が少なく老朽化が著しい遊具は、順次撤去しています。また、平成29年度には中央町内の

「よいこ遊園地」、拓殖住民センター裏手の「やまびこ遊園地」の2箇所を廃止いたします。今後、置戸市街地区を中心に、遊具の充実を図ることを含めて、新年度には、設置場所の確定、遊具等の選定という問題を議論し、基本計画にまとめ、平成30年度に新設の遊園地を造りたいと思っております。現在、中央公民館前庭東側の水辺空間を候補地の一つとして考えています。また、南ヶ丘公園は、相当広い面積も要する公園でありますので、安心して利用者出来るよう考えなければならぬと思っております。

再Q 置戸町過疎地域自立促進市町村計画では、平成28年度に4110万円の予算を計上し整備を実施する予定でした。様々な計画の中で優先順位等あると思いますが、現在、生まれている子ども達

は、計画の倍以上と大変嬉しい状況です。また、一方で、若者ばかりではなく高齢者の皆さんも安心して暮らすことが

でき、置戸に住んで良かったと心に残るような施設整備をしていただきたいと願います。いかがですか。

A 確かに身近に子ども達ができる施設があることは望ましいと思います。しかし、残念ながら子ども達が遊んでいる実態がほとんどありません。新設する遊園地には、様々な方のご意見をいただき、適切な規模、用具、遊具がふさわしいのかを議論し、一定程度充実したものになればならないと思っております。

▼秋田レクリエーション公園

